

宮崎県総合博物館

特別展「モンスター水族館～深海魚とサメのひみつ～」

開催期間：2022年7月9日（土）～2022年9月4日（日）



【企画展の目標】

- 海の生きものが持つ個性にクローズアップし、生物の多様性を分かりやすく、面白く伝えるとともに、人との関わり（環境保全・食）について紹介する。マッコウクジラやダイオウイカの生態復元模型などの展示から、多くの人が、海の壮大な生態系や豊かな海が宮崎にあることを実感する。
- 5つの付帯事業から、海という環境やそこに住む生き物の生態について正しく理解し、「環境保全」意識を高める。
- 様々な機関と連携して実施することにより、海洋教育の機会創出や発展拡充につながり、当館が他の施設の海洋教育をサポートしていく存在となる。

1. 企画展示の内容

- 開催期間：2022年7月9日（土）～2022年9月4日（日）
- 開催場所：宮崎県総合博物館 2階特別展示室
- 入場者数：62,378人



宮崎県総合博物館 外観



企画展会場 入口

第1章 みやざきのいきモン



解説パネル



ウェルカム水槽



貝を探そう! ①



貝を探そう! ②

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。



漂着物の展示パネル



漂着物の展示

第1章は、「みやざきのいきモン」と題して宮崎の海辺に生息する貝類や「アカメ」や「ウツボ」などの魚類、砂浜に流れ着いた漂着物の展示をしました。多種類の貝の形状や生態など多様性に富んでいることが実感できました。また、漂着物にも着目することで、海外からの漂着ゴミがあることやそれらのゴミによって、ウミガメなどの野生動物の環境に悪影響を与えている実感を感じ取ることができました。私たちの身近で自然豊かな海を守っていかうとする心情を育てることができました。



ウミガメ剥製展示



ザトウクジラ頭骨



クイズパネル



解説パネル



「水モン」キャラクターによる解説



生体水槽

この展覧会は、子どもたちにも海の生き物の魅力を分かりやすく伝えるために、「水モン」という当館オリジナルのキャラクター（全21種）による解説が、要所に設置され、親子と一緒に学習できる工夫を施しています。また、QRコード（水モンAR）を読み取ることで、「水モン」キャラクターたちと写真が撮れ、楽しみながらクジラやウミガメを身近に学習できる展示になっています。生体水槽も展示会場に散りばめられて設置しており、パネルと比較しながら泳いでいる様子も観察することができました。

第2章 海のハンターズ



紹介パネル



サメ頭骨



興味を惹かせるパネル



二タリの吊り展示

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。



シャークアタック体験トンネル入口



シャークアタック体験のアクリルドーム



サメ博士黒木健介君の展示



ホホジロザメ剥製



イタチザメ剥製



アオザメ剥製

第2章は、「海のハンターズ」として、おもにサメを中心に展示しました。様々な種類のサメの形態や歯の構造、卵の形など紹介しました。また、「シャークアタック体験トンネル」では、アクリルドームから顔を出すことで、海を泳ぐサメたちを間近で見ることができました。サメを個人的に研究している宮崎県内の高校生の展示は、子どもたちに、探究心の大切さを教えてくれました。

第3章 深海の奇妙な住人たち



アンコウ剥製



コウモリダコ模型



センジュナマコ模型



フウセンウナギ模型



マンボウ剥製



ダイオウイカ触腕

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



深海魚展示



マッコウクジラとダイオウイカ実物大模型



ダイオウイカ目



ニュウドウカジカ模型



マッコウクジラ頭骨



食品サンプル

第3章は、「深海の奇妙な住人たち」として、アンコウやニュウドウカジカなどの奇妙な深海魚を中心に紹介しました。そして、2014年、宮崎県川南町でストランディングした「マッコウクジラ」の骨格標本と実物大模型ならびに「ダイオウイカ」の実物大模型は、訪れるすべての人に、海の壮大なスケールを感じさせてくれる展示です。さらに人気の「リュウグウノツカイ」や「サケガシラ」「シーラカンス」といった深海魚も生物の多様性を学ぶ資料を数多く展示しました。後半は、「食」にもスポットを当てて、深海魚たちが私たちの生活と密接な関係があることを感じさせてくれました。

第4章 私たち人気モン



第4章紹介パネル



生体展示



ルリヤッコ



イヌザメ



オオグソクムシ



カクレクマノミ

第4章は、「私たち人気モン」のタイトル通り、「オオグソクムシ」や「カクレクマノミ」など子どもたちに人気の熱帯魚やサメの生体展示になります。ここまで学習してきた生き物たちが宮崎の豊かな海にも存在することを実感し、その環境を守っていく心情を育てます。ペットボトルやマイクロプラスチックゴミなどが野生動物に与える影響を、パネルや資料から学びとることができるようにしました。また、中学生以下の来場者全員へプレゼントした「自由研究BOOK」も「環境保全」についての熱いメッセージが含まれています。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



マッコウクジラが飲み込んだ漁網



解説パネル①



解説パネル②



解説パネル③



映像「知っておきたい海の環境問題」



自由研究BOOK

特別展「モンスター水族館」

- 【工作】 貝がらフォトフレームをつくろう!
- 【工作・実験】 浮沈子を使った実験をしよう!
- 【調査】 マイクロプラスチックの調査をしよう!
- 【調べ学習・調査】 ウミガメについて調べよう!

制作・デザイン
 志願株式会社制作
 TEL.0985-24-2071



自由研究 BOOK

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

【来館者の声】

- 深海のゴミを見て、海の生き物を守るためにゴミ拾いをしようと子どもが言っていたので嬉しかった。
- 海の水が汚くなると魚たちが住めなくなるからゴミを捨てないようにしたいと思いました。
- ゴミが色々な海の生き物に悪影響を及ぼしていること。家の近くに海があるのでゴミ拾いをしようと思いました。
- 海にかっこいい生物がいる。海が汚れ始めていて、海にゴミを流さない気持ちが必要だと思った。
- 日本だけじゃなくて他の国にも海の中にゴミがあって、海の生き物が食べたりしたら危ないと思った。
- 海には色々な生き物がいると思いました。生き物はすごいと思いました。サメの歯がすごかったです。イカもすごかったです。
- 深海にはゴミがいっぱいあり、生き物がたくさんいることを学びました。
- お魚たちがゴミを食べないように、ゴミを落とさないようにしたい。
- ゴミを減らしたり、海の生き物を守りたいです。
- ゴミを減らすように取り組みたいと感じた。

2. 関連事業の内容

■ ①ウミガメのための海岸清掃

【開催日時】2022年5月1日（日） 10:00～12:00

【開催場所】みやざき臨海公園一ツ葉海岸（宮崎市）

【参加者数】51名

【実施内容・目的】

- アカウミガメの産卵シーズンを前に、海岸に落ちている漂着ゴミなどをきれいに清掃し、ウミガメの生態について学習しました。また、海水浴など、海を利用する際のマナーや安全面について関係機関からの説明やビーチクリーン活動を通して、「環境保全」の大切さを学びました。また、「イベント」として広く告知するねらいもあります。



触察用のウミガメ剥製標本



ライフセーバーから海の利用についての説明



海岸清掃の様子



参加者集合写真

5月から8月にかけて、宮崎でも身近にウミガメが毎日のように産卵に来ています。参加者は、博物館の剥製を見て、様々な種類のウミガメがいることに驚いていました。また、ライフセーバーから海水浴シーズンを前に海を利用する際の注意点や安全面についての説明がありました。その後、海岸清掃を1時間ほど行い、たくさんの漂着ゴミがあることを実感しました。マイクロプラスチックゴミも多く見られ、私たちの生活「環境保全」の意識向上を図ることができました。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等ではできません。

【参加者の声】

○海ガメのために、たくさんのゴミを拾ったりしていると、だんだん楽しくなってきたので、またやりたいと思いました。

○特に、どういうカメが来るのかが分かって、なるほどと思った。

○想像していた以上に多くのゴミがあって衝撃を受けました。イベントに参加して知る事が出来て本当に良かったです。これからも意識してゴミを減らしたり、ひろったりしていきたいです。そしてアカウミガメが産卵できる環境を守っていきたいと思いました。

○はじめは、海と砂浜にゴミがないように見えたが、活動を通してマイクロプラスチックはすごく小さく、砂の中にうまっていた見つけにくいものでした。人工ビーチでこれだけのものをひろったので、自然ビーチを含めると、もっとすごい量のプラスチックがあるんだということを感じました。

○実際にゴミ拾いをしてみて、マイクロプラスチックの量に驚いた。波打ち際に打ち上げられた海藻と一緒に破れたビニール袋が細かくなって打ち上げられているのが印象的だった。

■ ②高校生プレゼンツ！海の生き物タッチプール

【開催日時】2022年7月30日（土）

9：00～12：00 13：00～16：00

【開催場所】宮崎県総合博物館 入り口テラス

【参加者数】1,598名

【実施内容・目的】

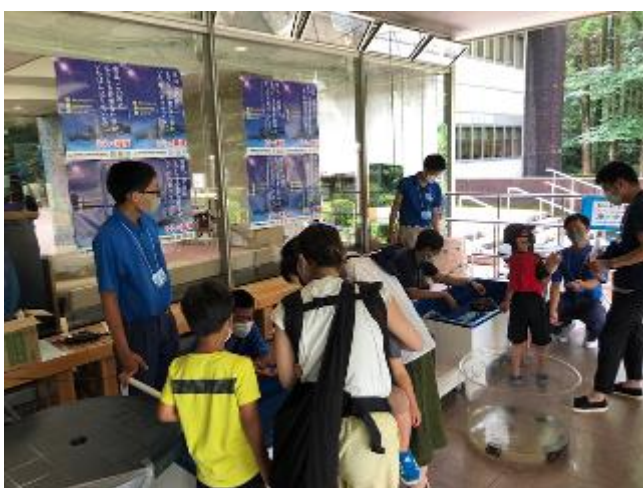
- 海にすんでいるナマコやヒトデ、イソギンチャクなどに触れるタッチプールを実施します。イベントを通して宮崎海洋高校の生徒たちが海の魅力を伝えます。高校生が直接参加者とふれ合うことで、高校生自身の再教育につながり、海関連の仕事を担当する次世代教育を推進する目的があります。



タッチプールの様子①



タッチプールの様子②



タッチプールの様子③



タッチプールの様子④

宮崎の磯で見られるナマコやヒトデ、イソギンチャクなどの動物に触れる事ができるタッチプールを実施しました。このイベントは生き物の採集から当日の運営まで、宮崎海洋高校の生徒が担当しました。当日は、たくさんの家族が参加し、高校生の説明を熱心に聞いていました。参加者にとっても高校生にとっても、よい学びの場となりました。

【参加者の声】

○いろいろな知識や触り方を教えていただけて嬉しかったです。

○子どもがキラキラ目を光らせていました。

○海の生き物を大切にしようと思った。

○子どもたちに大切にしてほしいです。

○初めて見た魚がいました。面白かったです。

○なまこがブニブニしていてかわいかった。海でたくさんのなまこや生き物が元気にくらしてほしいです。もっと海の生き物とこれからもふれあいたいです。

○生き物とのよいふれあいの場で、守っていきたいと思いました。

○体のしくみなどを教えていただいて、より興味がわきました。

■ ③恐怖！サメの大解剖

【開催日時】2022年8月5日（金） 13:30～15:30

【開催場所】宮崎県総合博物館 研修室2

【参加者数】8名

【実施内容・目的】

- 宮崎県で見られるサメを解剖し、胃の中身などを観察します。かごしま水族館の講師の方による解説を聞きながら、サメの不思議な生態を内側から学びます。このイベントでは、参加者に一匹ずつ宮崎県で採集されたサメを配布して解剖しました。このことで身近に多くの種類のサメがいることを知り、多様性を学ぶ目的もあります。



講師の説明の様子



解剖の様子



シロザメの中から出てきた胎児



イタチザメを解剖する参加者

アカシュモクザメやシロザメ、イタチザメなど、宮崎県で捕れたサメを漁協より分けていただき、参加者に解剖してもらいました。胃の中からサメが食べた子魚が大量に出てきたり、シロザメの子宮からサメの胎児が出てきたりと、驚きの連続であった。参加者はサメの多様性や内部構造について詳しく学び、海に対する興味を深めていました。

【参加者の声】

- サメの胃袋から魚がでてきました。
- サメについてもっと知りたいと思いました。
- どんな生物にも命がある。海を、私たちの住む世界と同じように守っていく責任がある。
- ひとくくりのサメと区別しても、そこから多くの科に分類していくことができると分かった。
- サメの体のつくりについて学べて、よりサメへの探究心がついた。
- 海の神秘を感じた。
- 普通の魚とサメの違いについて知る事ができた。しかしなかなかの匂いであった。

■ ④キャンドルナイトでSDGs ～海の生き物に未来を～

【開催日時】2022年8月19日（金） 18:00～20:00

【開催場所】宮崎市青島海岸

【参加者数】33名

【実施内容・目的】

- 廃油で作られたキャンドル約1,000個を並べて日没と同時に火を灯しました。生活排水として川や海に流れる廃油の削減について理解を深めるイベントでした。キャンドルの材料はペットボトルと卵の殻と廃油と、本来は捨てられるものばかりです。これらを回収して美しいキャンドルとして再利用し、海の環境保全について意識を高めてもらうのが目的です。



準備の説明の様子



キャンドル点火の様子



キャンドルの様子



講話をする様子

キャンドルは、半分に切ったペットボトルに卵の殻と廃油で作られたキャンドルを浮かべたもので、この材料のうちペットボトルは宮崎県総合博物館の職員から回収したものです。当日は夕方より準備を進め、キャンドルを等間隔に設置し、中に水を注いでいきました。そして日没と同時に点火し、キャンドルの炎を眺めながら、環境保全（廃油）に関する講話をさせていただきました。参加者は熱心に耳を傾けており、キャンドルの前で記念写真を撮っていました。台所から流れる廃油は、川や海に流れ出る場合があります。一人一人の意識が海の生き物を守ることを伝える事ができました。

【参加者の声】

- 海はみんなにとっても大事なものだから、大切にしていきたいと思った。
- 油を使っている日常と海のつながりを子どもが何か気づききっかけになったらいいと思いました。
- 海は、時にはやさしい・うつくしい・はげしい・かがやかしく光っているから海もその中にいる生物も守っていきたい。
- 廃油が海や川にいったら廃油が水中の酸素をとるからよくないと思った。
- 海は、今まで守ろうとしたけれど、もっと海をまもらないといけないなあと思いました。
- 天ぷら油を再利用するところがとても良いと思った。
- キャンドルに火をつけるのがよかった。

■ ⑤親子で学ぶ海辺 ～生き物と環境について～

【開催日時】2022年10月22日（土） 10:00～12:00

【開催場所】宮崎市青島海岸

【参加者数】16名

【実施内容・目的】

- アカウミガメの産卵地として、また観光地としても有名な青島海岸で、海岸の清掃活動（ゴミ拾い）を通して「海辺」の役割と大切さについて学びました。青島海岸はアカウミガメをはじめとする貴重な海の生き物が確認される地であり、観光地として人気のスポットでもあります。これら2つの視点から重要な海岸を清掃し、持続可能なものにしていく事が目的です。



ゴミ拾いの様子



集めたゴミの前で説明する様子



参加者の集合写真



ウミガメの説明をする様子

ゴミを拾うだけでなく、実体顕微鏡を持ち込んで海岸の砂の中のマイクロプラスチックを観察したり、ウミガメの骨やカイメンなど、海岸に落ちていた生き物の一部を紹介したりしました。参加者は宝探しのように何が落ちているかを楽しみながらゴミ拾いをしていました。また、アカウミガメやタイマイの剥製を展示し、宮崎県で見られるウミガメについて詳しく説明しました。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

【参加者の声】

○熊本の実家の海をおもいだし、うれしかったです。ありがとうございました。

○今日見つけたごみだけでもたくさんあって、とてもびっくりしました。

○大きいゴミは取りやすいが、小さいゴミはより驚異になるにも関わらず、取り除きにくいので厄介。

○よく見ると、たくさんのゴミがたくさんあって、子どもも一生懸命になって良かった。

○もっと周囲に共感・危機感を持ってもらうことが必要。

○砂の中にマイクロプラスチックが混ざっている事を知り、それを除去する方法を見つけたらノーベル賞ものだと思います。

○人間が悪いので、人間が拾わないといけないし、人間のせいで魚などの生き物が死んでいるので、ちゃんときれいにしたいと思います。

○海の環境保全に少しだけでも参加できて良かったです。ゴミの多さを知る事ができて良かったです。

【事業全体のまとめ】

特別展「モンスター水族館」では、海や河川で生息する生き物をクローズアップし、その生態を分かりやすく紹介しました。特に、マッコウクジラやダイオウイカの実物大模型や、宮崎県初展示となる深海魚の液浸標本、どう猛なサメの剥製の吊り展示など、まるで「モンスター」のような生き物の姿に興味を持っていただけるように展示の工夫をしました。また、「食」や「環境保全」などもテーマにしており、生き物と人との関わり合いを展示により表現しています。これらは、海の学び「企画展サポート」事業を活用しなければ実施できなかったものです。

海の環境保全については、海岸に漂着したゴミやマッコウクジラの胃の中から出てきた漁網など、展示を通して現状を伝えたり、付帯事業で海岸清掃やSDGsを取り入れた内容を企画し、体験を通して参加者に学んでいただきました。入場者の感想より、海の環境保全について知り、主体的に動こうとする姿勢がうかがえたので、海の学びにつながる事業が実施できたと考えています。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 宮崎県立宮崎海洋高等学校	高校生による付帯事業「高校生プレゼンツ！海の生き物タッチプール」の企画・運営
2. いおワールドかごしま水族館	付帯事業「恐怖！サメの大解剖」の企画・運営
3. 宮崎市青島ビーチセンター「渚の交番」	付帯事業「ウミガメのための海岸清掃」の企画・運営 付帯事業「親子で学ぶ海辺」の企画・運営
4. 宮崎市立大宮小学校	「自由研究のBook」（ワークシート）の共同開発
5. JAMSTEC(海洋研究開発機構)	深海生物の映像資料・写真データの提供
6. ミュージアムパーク茨城県自然博物館	サメ類、深海生物の標本等の借用
7. 独立行政法人国立科学博物館	深海生物の標本やレプリカの借用
8. 境港市海とくらしの史料館	魚類の剥製標本の借用

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. テレビ	テレビCM（5月13日～9月4日）
2. 新聞	本日発売！ 親子ペアチケット 宮崎日日新聞（5/14） 好評につき 親子ペアチケット完売しました 宮崎日日新聞（5/18） 前売り券 本日発売！ 宮崎日日新聞（6/1） 前売り券 好評販売中！ 宮崎日日新聞（6/2） 前売り券 好評販売中！ 宮崎日日新聞（6/4） 前売り券 好評販売中！ 宮崎日日新聞（6/5） いよいよ あす開幕 宮崎日日新聞（7/8） 好評開催中！ 宮崎日日新聞（7/14） 好評開催中！ 宮崎日日新聞（8/1） いよいよ9月4日（日）まで 宮崎日日新聞（8/24）

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

	いよいよ9月4日(日)まで 宮崎日日新聞(8/25) いよいよ9月4日(日)まで 宮崎日日新聞(8/31) いよいよ9月4日(日)まで 宮崎日日新聞(9/2) いよいよ明日まで! 宮崎日日新聞(9/3) いよいよ本日まで! 宮崎日日新聞(9/4)
3. ラジオ	フレッシュAMもぎたてラジオ 出演告知 MRTラジオ(6/29) フレッシュAMもぎたてラジオ 開催告知パブ MRTラジオ(7/8) GOGOワイド MRTラジオ(7/8) 夕刊ラジオナイスキャッチ 明日開幕 MRTラジオ(7/8) 夕刊ラジオナイスキャッチ 海の日ステッカー MRTラジオ(7/18) GOGOワイド スクーピーレポート MRTラジオ(7/21) 夕刊ラジオナイスキャッチ 1.5万人セレモニー MRTラジオ(7/22) 夕刊ラジオナイスキャッチ 2万人セレモニー MRTラジオ(7/29) バリ朝!土曜日(電話出演) MRTラジオ(7/30) サンデーラジオ大学 ここが面白いモンスター水族館 MRTラジオ(8/7)

以上